新市まちづくりビジョン

～新市将来構想～

平成 15 年 3 月

修善寺町外 3 町合併協議会

第１章　新市将来構想の策定にあたって

近年、厳しい経済情勢や少子高齢社会の到来など社会情勢が大きく変化する中、平成 12 年４月の地方分権一括法の施行など本格的な地方分権社会の構築を目指して地方自治体の体質の強化が求められています。住民に最も身近で、基礎的自治体とも言われる市町村にとっても行財政基盤の拡充と政策立案能力の向上による自主・自立の地域社会の形成が急務となっています。

そうした中、修善寺町、土肥町、天城湯ケ島町、中伊豆町の４町は、市町村合併という手段によって個性豊かで活力ある地域を創造していくため、合併協議会を設置し、平成 16 年３月の合併を目指して新たなまちづくりについて協議することとなりました。

市町村合併はその地域に暮らす人々にとって大変重要な問題であり、住民の皆さんに対し、合併後にどのようなまちづくりが行われていくか具体的なまちの姿を示し、合併に関する知識と理解を高め、住民の皆さんの合意、地域の合意を得ることが重要となります。このため、現在の４町が抱える現状と課題を明らかにし、各町のまちづくりの基本である総合計画や 2,500 名の住民の方々を対象に行われた住民意識調査の結果を元に、４町を一体的な地域と想定し、新市の将来のグランドデザインである新市将来構想を策定しました。

新市将来構想は、合併した場合の概ね 20 年間の長期的な行政運営の指針として、今後の住民と行政のあり方の方向性を示したものです。

今後、本構想に基づき新市建設計画を策定することになりますが、本構想に描かれた将来像や基本方針の方向性を受け継ぎ、策定するものとします。